KOTO

LS-166

ライニングピストンストッパー

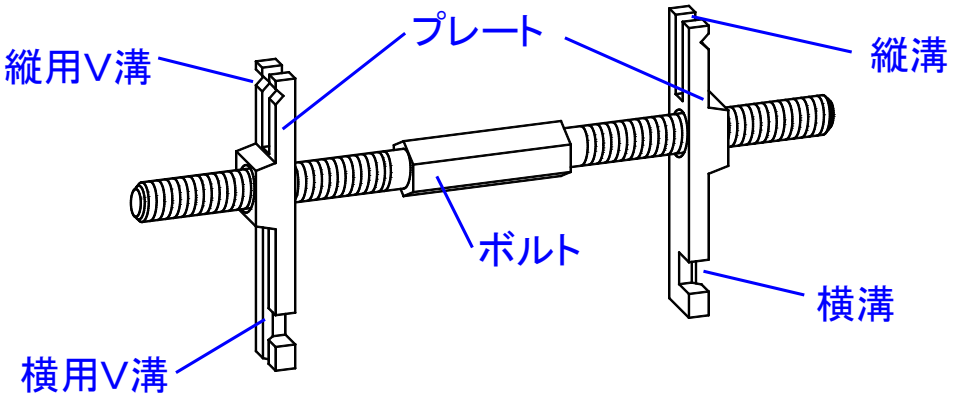
取扱説明書

※ この度はKOTO製品をお買求め頂きまして誠にありがとうございます。

※ 間違った使用方法による怪我の防止及び、長くご使用頂く為にも必ずこの取扱説明書をお読みになり、使用方法を理解した上でご使用下さい。

※ この取扱説明書はいつでもお読み頂ける様に大切に保管して下さい。

～各部名称～



～使用方法～

◎ 本製品は軽自動車～普通乗用車（1600cc程度以下）のブレーキライニングを広げ、ホイールシリンダーのみの交換や、ホイールシリンダーのピストンを縮めライニングのみの交換等に使用する工具です。

◎ 上記以外の用途や適応以外の車輌に使用しないで下さい。

◎ 使用前にネジ部には必ずグリース等潤滑材を塗布してから作業を行って下さい。

～ピストンシリンダー取り外し～

①LS-166（以下：本製品）の縦溝をライニング上部から差し込みます。（【参考イラスト1】：参照）

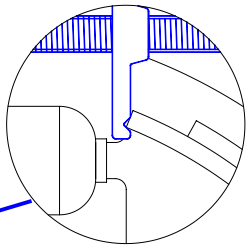
②ボルトを廻しライニングの淵が縦用V溝に当たる様にセットします。（【溝引っ掛かり詳細】：参照）

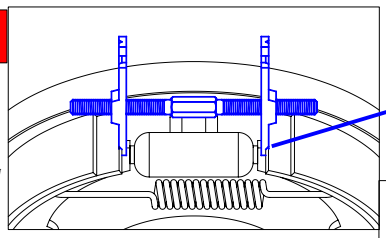
③お手持ちのスパナ等でボルト六角部を廻しプレートを広げて行きます。（【参考イラスト2】：参照）

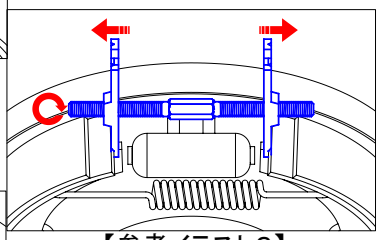
④ホイールシリンダーが十分取れる隙間が出来たらホイールシリンダーを取り外し、新しい（オーバーホールした）ホイールシリンダーを装着します。（【参考イラスト3】：参照）

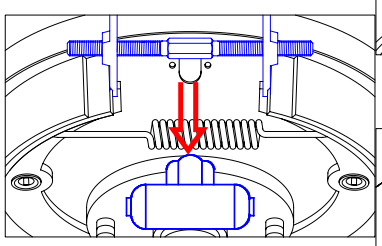
プレートを戻す際は慎重に行って下さい。

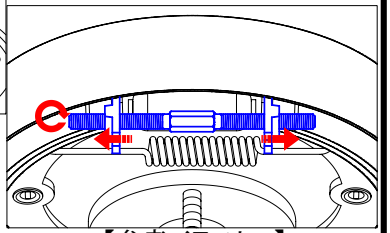
⑤
バックプレート等がライニング上部まで掛っているタイプ※には本製品を横方向から（【参考イラスト4】：参照）差し込み使用します。


【溝引っ掛かり詳細】


【参考イラスト1】


【参考イラスト2】


【参考イラスト3】

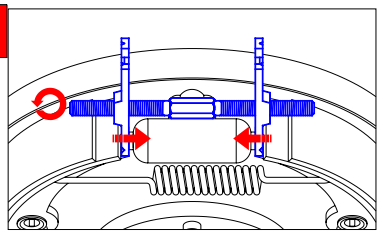

【参考イラスト4】

～ライニング取り外し～

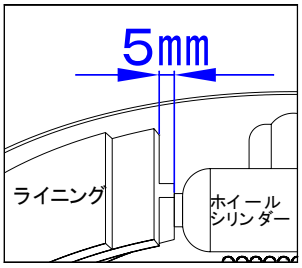
①ピストンロッドにプレート内側の面（縦用V溝裏側）を当てる様に、ボルトを廻しピストンロッドを縮め、ライニング等を外します。
（【参考イラスト5】:参照）

※ライニングとピストンロッドの間が『5㎜以下』の場合は本製品が入りません。（【隙間詳細】:参照）

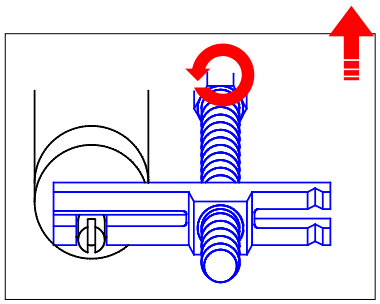
※ホイールシリンダー上部に障害物（バックプレート等）が有る場合は、ピストンロッドにプレート内側の面（横溝裏側）を当てる様に、ボルトを廻しピストンロッドを縮め、ライニング等を外します。
（【参考イラスト6】:参照）



【参考イラスト5】



【隙間詳細】



【参考イラスト6】

～使用上の注意事項～

- ○本製品は軽自動車から普通乗用車（1600cc程度）のライニング及びピストンシリンダーの交換に使用する専用工具です。
  上記用途以外には使用しないで下さい。
- ○1600cc以下でもライニングのリターンスプリングが固い場合は、スプリングを外してから作業を行って下さい。
- ○ライニングとピストンロッドの隙間が『5㎜以下』の車輌には本製品がセット出来ないので使用出来ません。
- ○ライニング交換時にピストンロッドがシリンダーカバー内に納まっているのタイプには使用出来ません。
- ○車輌によっては構造上使用出来ない場合もあります。
- ○作業時には安全の為、保護メガネ等を装着して作業を行って下さい。
- ○作業前には必ずネジ部（ボルト）にグリース等を塗布して上で使用して下さい。
- ○本製品を車輌から外す際はリターンスプリングの力で急に戻ってしまう場合がありますのでご注意下さい。
- ○使用時にボルトを廻す際にプレートが倒れてしまう場合があります。 その際はプレートをレンチ等で挟み固定して下さい。

KOTO

LS-166

ライニングピストンストッパー

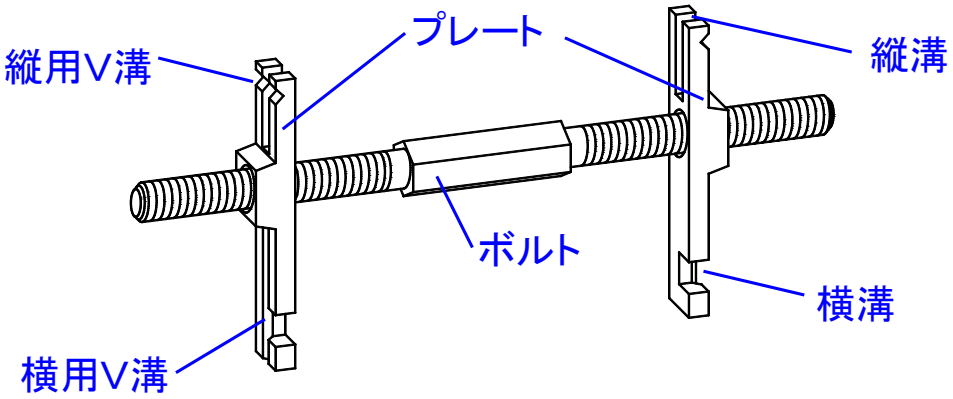
取扱説明書

※ この度はKOTO製品をお買求め頂きまして誠にありがとうございます。

※ 間違った使用方法による怪我の防止及び、長くご使用頂く為にも必ずこの取扱説明書をお読みになり、使用方法を理解した上でご使用下さい。

※ この取扱説明書はいつでもお読み頂ける様に大切に保管して下さい。

～各部名称～



～使用方法～

◎ 本製品は軽自動車～普通乗用車（1600cc程度以下）のブレーキライニングを広げ、ホイールシリンダーのみの交換や、ホイールシリンダーのピストンを縮めライニングのみの交換等に使用する工具です。

◎ 上記以外の用途や適応以外の車輌に使用しないで下さい。

◎ 使用前にネジ部には必ずグリース等潤滑材を塗布してから作業を行って下さい。

～ピストンシリンダー取り外し～

①LS-166（以下：本製品）の縦溝をライニング上部から差し込みます。（【参考イラスト1】：参照）

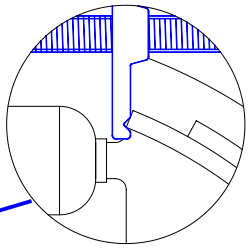
②ボルトを廻しライニングの淵が縦用V溝に当たる様にセットします。（【溝引っ掛かり詳細】：参照）

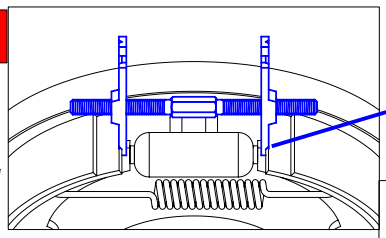
③お手持ちのスパナ等でボルト六角部を廻しプレートを広げて行きます。（【参考イラスト2】：参照）

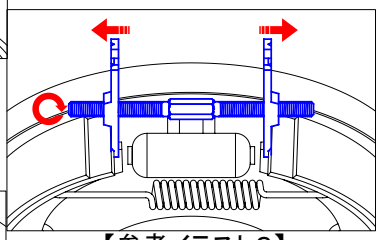
④ホイールシリンダーが十分取れる隙間が出来たらホイールシリンダーを取り外し、新しい（オーバーホールした）ホイールシリンダーを装着します。（【参考イラスト3】：参照）

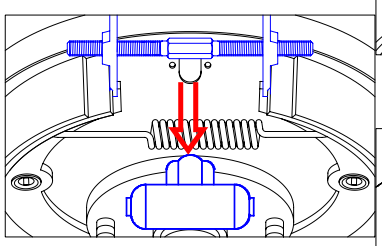
プレートを戻す際は慎重に行って下さい。

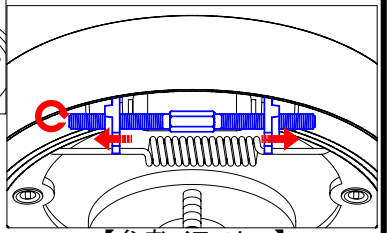
⑤
バックプレート等がライニング上部まで掛っているタイプ※には本製品を横方向から（【参考イラスト4】：参照）差し込み使用します。


【溝引っ掛かり詳細】


【参考イラスト1】


【参考イラスト2】


【参考イラスト3】

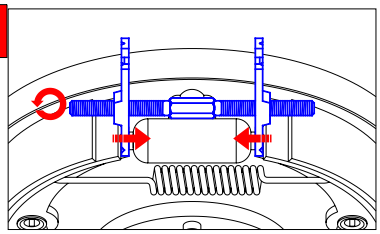

【参考イラスト4】

～ライニング取り外し～

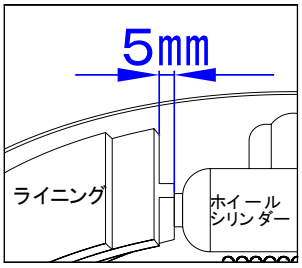
①ピストンロッドにプレート内側の面（縦用V溝裏側）を当てる様に、ボルトを廻しピストンロッドを縮め、ライニング等を外します。
（【参考イラスト5】:参照）

※ライニングとピストンロッドの間が『5㎜以下』の場合は本製品が入りません。（【隙間詳細】:参照）

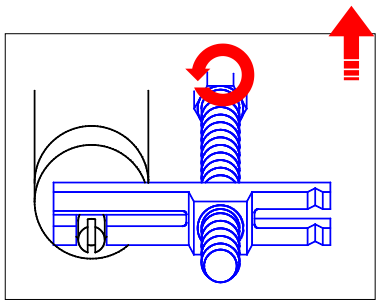
※ホイールシリンダー上部に障害物（バックプレート等）が有る場合は、ピストンロッドにプレート内側の面（横溝裏側）を当てる様に、ボルトを廻しピストンロッドを縮め、ライニング等を外します。
（【参考イラスト6】:参照）



【参考イラスト5】



【隙間詳細】



【参考イラスト6】

～使用上の注意事項～

- ○本製品は軽自動車から普通乗用車（1600cc程度）のライニング及びピストンシリンダーの交換に使用する専用工具です。
  上記用途以外には使用しないで下さい。
- ○1600cc以下でもライニングのリターンスプリングが固い場合は、スプリングを外してから作業を行って下さい。
- ○ライニングとピストンロッドの隙間が『5㎜以下』の車輌には本製品がセット出来ないので使用出来ません。
- ○ライニング交換時にピストンロッドがシリンダーカバー内に納まっているのタイプには使用出来ません。
- ○車輌によっては構造上使用出来ない場合もあります。
- ○作業時には安全の為、保護メガネ等を装着して作業を行って下さい。
- ○作業前には必ずネジ部（ボルト）にグリース等を塗布して上で使用して下さい。
- ○本製品を車輌から外す際はリターンスプリングの力で急に戻ってしまう場合がありますのでご注意下さい。
- ○使用時にボルトを廻す際にプレートが倒れてしまう場合があります。 その際はプレートをレンチ等で挟み固定して下さい。